

## ふるさと白河を想う

10月30日、東京しらかわ会総会が上野精養軒（東京都台東区）で開催されました。東京しらかわ会は、白河地方出身者とその家族を会員とし、会員相互の親睦と白河の発展向上を目的としています。総会では、13年間会長を務めた金田幸三さんが退任し、伊藤照夫さんが会長に選出されました。総会後の懇親会では、出席者がふるさとの思い出を語り合っていました。



## ワンコインで白河観光を

（財）白河観光物産協会（JR白河駅舎内）は、レンタサイクルとレンタカーを貸し出す事業を開始し、10月21日、同協会前で出発式が行われました。住友ゴム工業(株)白河工場（高見昌文工場長）と(有)ゼットマイカーセンター（太菜一彦代表取締役）の協力を得て自転車5台と軽乗用車1台を設置しました。自転車は無料で、レンタカーは1時間500円で利用できます。



## 国認定に向けて協議会を発足

市では、「歴史まちづくり法」に基づく歴史的風致維持向上計画の国認定を目指して作業を進めており、10月21日には、市役所で、「白河市歴史的風致維持向上計画協議会」の第1回会議が開催されました。会議では、16人の委員に委嘱状が交付され、会長に有賀隆早稲田大学教授が選任されました。なお、同法に基づく法定協議会の発足は県内で初めてです。



▶講演するペギー葉山さん



## 白河市介護の日記念事業

11月3日、市民会館（手代町）で、市あったか介護功労者表彰と記念講演会が行われました。介護功労者表彰では、100歳以上の高齢者を在宅で介護している7人の方が表彰されました。また、講演会では、ペギー葉山さんが「ファ！はファイトのファ～ペギー葉山の介護日記」と題して、脳梗塞で倒れた夫・故根上淳氏の介護体験談を話しました。



## 人と森とをつなぐ公園が開園

10月23日、南湖森林公園の開園式が行われました。南湖森林公園は、南湖公園の北西に隣接する市有地を主体とした面積20.4haの広大なエリアで、市では、「人が集まりまた来たくなる楽しい里山」を方針に、平成18年度から整備を進めてきました。南湖森林公園には、学習の場となる「管理棟」、市街地を一望できる「展望台」、休憩所となる「あずまや」があり、市民の皆さんの憩いの場はもちろん、森林環境を利用した学習の場として利活用をしていきます。式では、鈴木市長が「皆の愛する公園になるように、皆さんと一緒に協力して守っていきましょう」と述べ、来賓者とともにテープカットを行いました。また、白一小児童が市長と一緒にヤマザクラを植樹し、式典後には、ネイチャーゲームや木工教室に参加して、さっそく森林環境について理解を深めました。

## 「今井珠泉展」開幕

11月6日、歴史民俗資料館（中田）で、市制施行5周年記念特別企画展「再興第94回院展文部科学大臣賞受賞記念 今井珠泉展」のオープニングセレモニーが開催されました。テープカットに続いて、今井画伯による展示解説会やサイン会が行われ、来場者は、画伯の解説に耳を傾けながら、魅力ある作品に見入っていました。特別企画展は12月5日まで開催されます。

▶あいさつをする今井画伯



▶受賞作家の上田さん（右）

## 第16回中山義秀文学賞が決定！

11月13日、大信農村環境改善センター（大信町屋）で、「中山義秀文学賞公開選考会」が開催されました。作家の津本陽さん・竹田真砂子さん・安部龍太郎さん、文芸評論家の縄田一男さんが選考委員となり、上田秀人さんの「孤闘立花宗茂」が文学賞に決定しました。同文学賞の贈呈式・受賞記念講演会・交流祝賀会は来年2月に開催の予定です。